

原発なくせ抗議行動ニュース

原発ゼロを求めるイレブン
アクション岡山実行委員会

NO. 29
2013.03.29

ブログ：<http://b.kenro.jp/> 連絡先：okakenro@mx1.tiki.ne.jp

電話：086-221-0133 fax：086-221-3595

労基署の検査情報 漏洩 手当不払い除染業者、口止め工作も

福島第1原発周辺の除染作業員に危険手当が支給されているか調べるため、厚生労働省が抜き打ちで行う検査の情報が事前に漏洩し、複数の業者が手当不払いを隠す目的で作業員に口止めしていたことがわかった。検査の信頼性が揺らぐのは必至だ。厚労省は約110社を検査して11社の不払いを確認したが、さらに広がる恐れがある。口止めは労働基準法違反や刑法の強要罪にあたる可能性があり、厚労省は業者から事情を聞くと同時に、検査方法も見直す。(3/23 朝日)

規制委員会 揺らぐ存在意義

原子力規制委員会は、原発の新安全基準の7月施工に向けた基本方針を示した。だが、規制委員会は稼働中の関西電力大飯原発3、4号機の停止を施行時に求めず運転継続の可能性に言及。電力需要が伸びる夏場に向けて関電は期待を寄せ、原発利用に前向きな安倍政権の思惑もちらつく。これまで、電力需給などに左右されないとしてきた規制委員会の姿勢に陰りが見えており、東京電力第1原発事故の教訓を踏まえて発足した存在意義が問われる。(3/24 山陽)

安全確保し判断 原発再稼働で首相

安倍首相は24日、視察先の福島県郡山市で原発再稼働について「安全を確保した上で判断したい。一方、低兼(ていれん)で安定的な電力供給がないと復興も難しい。総合的に判断していく」と記者団にのべ、原発の必要性を強調した。同時に、「事故の被害で大きな影響があったと再認識した。政治の仕事は風評を払拭することだ???’として被害回復に務める姿勢も示した。この日、首相は東京電力福島第1原発事故で風評被害を受けている郡山市の農家や住民が避難している浪江町などを視察した。(3/25 山陽)

LNGに改造 中国電力玉島発電所1号機

中国電力は、石油を燃料としている火力の玉島発電所の1号機を、液化天然ガス(LNG)でも発電できるよう改造する。6月に着工し、来年4月に営業運転をはじめの予定。石油より調達価格が安いLNGを主燃料とすることで、原子力発電所の運転停止で増加している燃料費の削減につながり、二酸化炭素の(CO2)の排出抑制など環境負荷の低減も図れる。(3/26 山陽)